

ORACLE
License Management
Services

Oracle License Management Servicesのご紹介

お客様のオラクル資産のコンプライアンス状況を検証する

Oracle License Management Servicesを利用する理由とは？

Oracle License Management Services (LMS) は、お客様のオラクル・ソフトウェアの展開状況について、信用、信頼のおける正式な見解を提供します。私たちはお客様と協力して、オラクルへの投資が最も適切でコスト効率の高い方法で利用されるようにするとともに、権利に対して完全に準拠した状況を確認できるようにします。

そのために、私たちは、様々なツールや手続き、そしてオラクルのライセンスに関する比類のない経験を用いて、お客様が展開されたオラクル資産を完全に可視化します。これにより、どの資産が使われていて、どの資産が使われていないかを自信を持って把握することができます。その結果、活用されていないライセンス(シェルフウェア)を別の用途で再利用し、保有するライセンスとエンドユーザー要件(ビジネス戦略)がより連動したものになるよう調整を図ることができます。

最も重要となるのは、お客様のOracleコンプライアンスの立場をサポートし、過不足のある領域に対処することで、コンプライアンス違反や予定外の監査による財務リスクからお客様の組織を解放することです。

オラクルLMSの目的

お客様に、組織内でのライセンス管理のコンプライアンス・ステータスと有効性について、公正で透明性ある最終的な評価結果を提供します。

保証

コストパフォーマンスの高い形で展開できるように保証します。

検証

オラクルのコンプライアンス・ステータスを検証し認証します。

強化

オラクル・ソフトウェア・ライセンスを効果的に管理するためのお客様の管理機能を強化します。

経験に基づいたご案内

Oracle LMSほど、オラクルのライセンスの細かい部分を熟知している専門部署はありません。

私たちはオラクルのソフトウェア監査の権威として認識されており、お客様からの直接のフィードバックに基づいて、機会があるごとにプロセスの改善と最適化を図っています。

私たちはライセンス管理に特化しており、世界中のソフトウェア資産管理（SAM）チームと常に連携し、何が有効か、私たちがおお客様の内部監査機能をより適切にサポートできるのはどこであるのかを確認しています。

私たちの理念は、信頼のおけるパートナーシップを築き、お客様のライセンス状況を把握する取り組みを誠実に行うことです。

これは、私たちがおお客様のコンプライアンス状況やSAMの内部統制の有効性を評価する際に不可欠です。

また、ベスト・プラクティスにさらに積極的に取り組み、私たちの持つライセンスポリシーの知識をお客様のビジネスに適用し、お客様がコンプライアンスを維持できるように万全にサポートします。



オラクルLMSのア プローチの概要

Oracle LMSでは、お客様にソフトウェア監査を実施していただく際に、通常3段階のプロセスを採用しています。

1. Initiate（開始）

私たちはまず測定を行い、今後のコミュニケーションのベースとなる事実に基づく記録を作成します。このアクティビティでは、データ収集ツールを使用して、オラクルの展開状況全体を詳細に把握することができます。

2. Investigate（調査）

次にお客様がソフトウェアを展開する上での「何を、どこで、いつ、なぜ（最も重要）」を理解することに努めます。これにより、実施されている統制とベスト・プラクティスに従う意図を評価することに役立ちます。

3. Inform（情報提供）

ここでは、我々の分析に基づくアウトプットと調査結果および既存のSAM統制の問題点の詳細について、透明性のある共同作業で事実に基づく報告書を作成します。

このプロセスでは、お客様の体験をなによりも重視します。私たちは、ソフトウェア監査によるお客様のチームや業務への影響を最小限に抑えるために努力しており、お客様とのやり取りを可能な限り効果的なものにするよう努めます。

これが、私たちが「お客様第一主義」と呼ぶ理由であり、すべてのアウトプットが、より活用的なSAMの性能について、情報提供し、強化し、そして最終的には促進につながることを確実にします。



適切なツールの使用

Oracle LMSは、お客様が現在展開しているOracle資産について詳細な評価を得られるようサポートいたします。その結果、お客様は自社のOracle資産の総数を確認し、実際の使用状況と契約上の権利を照合し、ギャップに対処することが可能となります。

分析ツールおよび技術ツール

監査プロセスにおいて、Oracle LMSは、使用状況データを収集するため、さまざまなツールを導入することがあります。私たちは、お客様の環境に最適な選択肢をお客様と一緒に考えます。

ツールには次のものが含まれます。

- 認定サードパーティベンダー
— Oracle製品使用状況のデータを収集
- Oracle Collection Tool — Oracle製品使用状況のデータを収集
- Global Deployment Matrix — 自社環境へ導入済みのOracle製品に関するお客様による申告書

Oracle LMSのツールに対するアプローチ

Oracle製品の展開についてお客様が詳細な評価ができるよう、計画的なご支援の一環として、**Oracle License Management Services (LMS)**は、選択肢のあるツールをお客様へご提供します。

1. 製品がどこに展開され使用されているかを特定するのに役立つ独自のツールの開発を継続しています。
2. また、サードパーティのツールベンダーと共に、Oracle製品に関する使用状況データを正確に取得できるよう協力体制をとっています。

オラクルLMSポリシーと手順の詳細は、
こちらのウェブサイトでご覧いただけます。

www.oracle.com/goto/lms

ここでは、次のような役立つリソースをご覧ください。

- ・ オラクルのライセンスポリシー
- ・ オラクルのライセンスプラクティス

お問い合わせ

[facebook.com/oracle](https://www.facebook.com/oracle) [youtube.com/oracle](https://www.youtube.com/oracle) <https://www.linkedin.com/company/oracle/> twitter.com/oracle

Copyright © 2021, Oracleおよび/またはその関連会社。すべての著作権は当社に帰属します。本書は情報提供のみを目的としたものであり、ここに記載された内容は通知なく変更される場合があります。本書は、欠陥がないこと、口頭で明示あるいは法律で暗示されているかどうかに関わらず、暗示された保証または商品性の条件または特定の目的への適合性を含め、他の保証や条件の対象であることを保証するものではありません。当社は本書に関する一切の責任を明確に否認します。また本書により直接的にも間接的にも、いかなる契約義務も生じません。本書は、当社の書面による事前の許可なしには、どのような手段であるか、電子的または機械的であるか、どのような形態であるかに関わらず、その目的を問わず複製または転載をすることはできません。

OracleおよびJavaは、Oracleおよびその関連会社の登録商標です。他の名称は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

IntelおよびIntel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARC商標は、ライセンスに基づいて使用されており、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMDロゴ、およびAMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devicesの商標または登録商標です。UNIXはThe Open Groupの登録商標です。